



明神会長

令和6年度「道路ふれあい月間」国土交通大臣表彰受賞

毎年8月1日から8月31日の「道路ふれあい月間」に行われる、道路の正しい利用の啓発や愛護活動などに取り組む団体や個人をたたえる国土交通大臣表彰を、今年度、「黒潮町まちづくり推進委員会(なぶら)」が受賞しました。

同会は佐賀地域の有志で構成された団体で、「道の駅なぶら」と横浜トンネルの国道56号沿いにある花壇の植栽活動を続けています。

同会の明神里寿会長は、「町に来られる皆さんを、彩り豊かな花で歓迎したいという気持ちで花を植えている。佐賀地域の有志メンバーで協力し合って活動をしている」と話しました。



児童らによる出し物

佐賀北部地域夏祭り

8月17日(土)、拳ノ川小学校で佐賀北部地域夏祭りが開催されました。

同イベントでは、集落活動センター佐賀北部や高知大学地域協働学部の学生らなどによる出店や、同校児童らによる歌や踊りなどの出し物などが行われ、そのほか住民らが参加するゲームや盆踊り、抽選会なども行われました。

祭りの終盤には、同大学の学生らにより花火が打ち上げられ、来場者は歓声を上げていました。



寄附の様子

高知県高校生地域創生士がうみのこどもへ寄附

「高知県高校生地域創生士」として活動する大方高校、高知商業高校、山田高校の3校の生徒らがジビエ革のキャンプベスト商品を企画し、クラウドファンディングによる受注生産を行いました。同商品はisa、ブランド高知が製作。販売利益の一部が、町を拠点に活動する「うみのこども」および本山町で環境保全に取り組む団体へ寄附されました。

大方高校1年生の高橋季吹^{いぶき}さんは、「今回のプロジェクトは先輩から引き継いで、私に関わったのは寄附の場面だけだったが、すごいことをしているなと思った。ほかにもさまざまな活動をしており、交流の場にもなるため、今後も続けたい」と話しました。



授業の様子

大方高校で公共交通デザイン学授業

8月28日(水)、大方高校地域創造コース3年生9名に対して公共交通デザイン学の授業が行われました。地域交通アドバイザー高田友紀^{ともき}さんをファシリテーターに迎え行われた本授業では、公共交通の過去・現在・未来について考えたあと、実際に町内での運行が予定されている「AIオンデマンドバス(※)」のサービスコンセプトやデザインを考えました。生徒らは2グループにわかれ、それぞれ利用者の年齢層や目的を設定し、どのようなサービスを運用するかを話し合い、意見を出し合っていました。

※利用者が電話やアプリなどで乗り降りする場所を予約すると、AIが利用者の予約状況に応じて最適ルートを決めながら運行する乗合サービス。